

女子ソフトボール通信

大阪青山大学・大阪青山大学短期大学部

ソフトボール部監督 服部イツ子 文責

2018. 7. 10 () N o . 38 (通算N o . 47)

6月が終わりました

6月18日(月)の北大阪を中心に震度6.1の地震。古い我が家のマンションもライフラインが使用不可能でしたが何とか無事でした。また、千葉の震度5.0の地震、ここ数日の大雨・土砂災害等により数多くの被害や100名を越える尊い生命が奪われました。ここに慎んでお悔やみ申し上げますとともに、未だ生存すら確認できていない皆様方、避難所の生活を余儀なくされている皆様方やご家族の皆様方に心よりのお悔やみを申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。私たちも何かをしなければと強く思っています。また、災害救助にあたっている多くの関係者、ボランティアの皆様方には心より感謝申し上げます。

早いもので6月が終わりました。激しい雨や雷雨、強風、そして、猛暑の日々がここ数日続いています。体調管理の難しい時期ですが、健康に留意しながら近づく真夏日に体力をつけておきたいものです。

さて、ソフトボール部ですが、西日本大学女子ソフトボール選手権大会、全日本大学女子ソフトボール選手権大会の出場を決めた後、全日本総合選手権大会の大阪予選に準優勝、創部初めて全日本総合ソフトボール選手権大会近畿予選に出場することになりました。この大会は全国に出場すれば、大学生チームだけでなく、ビックカメラ等々実業団一部との対戦も夢ではない、日本で一番レベルの高い大会です。

6月に入り、小学校・幼稚園の教育実習があり、幼稚園組の実習生は6月22日(金)に3週間の実習を終え、23日(土)より練習に加わりましたが、小学校組の人たちは6月29日(金)に終了しました。1カ月も全くソフトボールから離れた人たちが元に戻るのに3カ月かかると言われています。その為、西カレ・韓国遠征・白馬カップ・インカレも難しい状況です。また、6月30日(土)教員採用試験があり、2名の4年次生が採用試験に挑戦しました。監督である私自身の考えが甘かったと思いますが、出身地に戻って実習をしている学生は土・日も全く練習に参加できず、丸々1カ月ソフトボールをやっていません。今後のことを考えると、とてもじゃないですが今大会に使うことなど難しい状況です。その上に、今週からは看護学科の実習も始まり、4年次生の中心メンバーが全て実習、採用試験といった悪条件の中、初出場での近畿大会突破を目指しました。ライセンス取得の為、実習は本当に大きな学修の1つです。学生たちには“実習優先、頑張るよう！！”と伝えていますが、勝ちにこだわりたい監督としては飛車角抜きの大大会出場になりました。

この間3年次生以下は”ここがチャンス”と頑張っていますが、急に大きな成長には繋がりません。全員が揃ったのは7月1日（日）からですが、その後も採用試験、就職活動等々で24名全員が揃う練習日が少ないのが現実です。勝ち進み、強くなればなるほど、練習の仕方や学生たちの立場、コミュニケーションの取り方、大学の授業の関係、今まで考えてもいなかったことがより多くあり、監督である私自身の部活動運営も、より丁寧により慎重に、そして大学の教職員の皆様方に迷惑の掛からないように細心の注意が必要だと改めて決意する今日この頃です。

1年次生“まとい”の講習を受けました

この3月に卒業した3期生6名に代わって7期生になる1年次生8名がこの月曜日（6月25日）に救急救命法を学ぶため、箕面市の消防署へ講習。

予備知識として、当日のお昼、学生課の福田次長からの研修がお昼休みということもあり、お弁当持参で研修を受けました。本来なら、土・日曜日を使えばいいのですが、4年次生が教育実習の中、1年次生も大きな大きな力です。1年次生にとってはたった3カ月程の大学生活ですが、毎日毎日が大変で私に怒られることも多いのですが明るく元気に頑張っています。ソフトボールのみならず、一人の大学生として様々なことに挑戦し、体験を積み重ねることで一步步大人への階段を上がり、目指す職業選択が出来るように“文武両道”の精神で日々取り組むようにと話しをしていますが、どうでしょうか。教職員の皆様方にはご迷惑をお掛け致しますが、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

第70回全日本総合女子選手権大会近畿ブロック予選会

二部、三部リーグにいた大阪青山大学、何もわからず上記大会の大阪府予選会に出場したいと大阪ソフトボール協会に連絡したところ“実業団とやるので、一部リーグ所属のチームしか予選会に出場できない”とけんもほろろに言われた予選会。昨年度、初めてその条件を満たし、大阪府予選へ。1回戦大阪トエニーフオーという実業団とあたり、7対7の引き分け、時間切れ、抽選負けで予選敗退。大会出場にあたり、参加費をとってまでやる予選会に“時間制”、“抽選”といった全国に繋がる大会では考えられない大阪府のやり方に異議をとない、今年も2部リーグのチームも参加。ただし、時間制や予備日のないこと等、まだまだ不十分さがあるものの、近畿2府4県で一番過激な大阪で何とか決勝へ。雨で試合が流れに流れて、やっと6月3日（日）に貝塚で決勝戦が。決勝の相手は大阪大谷大学、これもまた監督の未熟さゆえ、5対1で敗れ大阪の2位代表で近畿大会へ。

6月30日（土）京都府代表の同志社大学戦。西カレ・インカレを落としている同志社大学のこの大会にかける熱い思い、やりづらいゲームでしたが、監督の采配は全てに冴え渡り、4対0で快勝。7月1日（日）1試合目は、10時開始、園田学園女子大学戦。こ

のゲームを落としても敗者復活戦で第3代表になる可能性もあり、エースの川添を1イニングで交代、後は5人のピッチャーに投げさせ、5対0で敗戦。このゲーム終了後、12時20分より第3代表をかけて、京都府代表の立命館大学との対戦。立命館大学は先取点を取ればもろいチームと知っていながら、監督である私自身が2018年で最低の采配ミス。先攻、後攻も立命館大学は勝つ気で後攻を選択。(ソフトボールは勝つことを前提とした場合、後攻を取るチームが多い。)大阪青山大学は先攻でのゲームとなりました。1回表、1番バッター2年次生の五十嵐がヒットで出塁、教育実習明けの2番4年次生の前田が絶妙の送りバントで1死2塁、3番キャプテン看護学科4年次生の長井みなみが実習中にも関わらずヒットで出塁、1死1・3塁の場面を作りました。ここで何を血迷ったのか監督である私が、1塁走者長井に盗塁のサイン、これが今回の敗因の全てです。焦ることもない場面で無理やり盗塁、1・2塁間に挟まれ、タッチアウト、3塁走者の五十嵐もホームへかえることが出来ず、4番看護学科3年次生の長井かず、デットボールで出塁。6月30日(土)採用試験が終了し、今日復帰した副キャプテンの4年次生坂上、本当に上手いセフティーバントでしたが間一髪アウトでした。

この日の夜は悔しくて情けなくて、学生たちに悪く、久しぶりに一睡もしないまま朝を迎えました。“絶対に勝てるゲーム”を落としました。この大会には実業団一部リーグ12チームと実業団二部リーグの一部、各ブロックの大学選抜チーム(各ブロックの予選会から勝ち抜いたチーム)が出ます。言い換えれば、日本女子ソフトボール大会の最高峰と言っても過言ではありません。頑張ってきた4年次生に実業団を相手にゲームをさせてやりたい!との強い思いで望んだ今回の予選会。監督の未熟さで、大きな大きな大会に出ることが出来ませんでした。“学生たちに申し訳ない”、“遠方から応援に駆けつけてくれた保護者や卒業生、卒業生の保護者、高校の先生方に申し訳ない”その思いで、“何であそこで走らせたのか”自分自身に大きな焦りがあったと感じています。保護者からは、“先生、西カレ・インカレがあります、頑張りましょう”と温かいお言葉掛けをいただきましたが、今は自分を責める時間ばかりです。“勝利至上主義”が否定されるものではありません。試合をやる以上、勝ちにこだわり、インターハイや大きい大会に出ている選手ばかりを集めている立命館や同志社には絶対負けたくないとの強い気持ちでやってきました。大きい大会を経験していない学生ですが、だからこそ全員の力を結束して勝ちたいと望んだ大会でした。4年次生が実習で6月29日(金)の夜に大阪に戻ってきました。大学側の配慮で様々な恩恵を受けているにも関わらず本当に申し訳ない思いで一杯です。大阪大谷大学も武庫川女子大学も予選で敗退。近畿ブロックの層の厚さと強豪チームの多さには驚きますが、もう一度気持ちを切り替えてと考えているのですが・・・悔しくてどうにもなりません。

今後の予定

7月7日(土)、8(日)石川県立門前高校生徒・保護者クラブ見学へ(3名)

7月7日(土)大阪市立桜宮高校 インターハイ出場祝賀会

19:00⇒監督出席

7月8日(日) 天理大学、関西大学と練習試合 於 北摂グラウンド

7月11日(水) 関西大学ソフトボール連盟 企画委員会

7月15日(日) 龍谷大学、美作大学、3大学練習試合 於 北摂グラウンド

7月21日(土) 愛知星城大学との練習試合 於 北摂グラウンド

7月22日(日) 武庫川女子大学へ遠征

武庫川女子大学、愛知星城大学と練習試合 於 武庫川女子大学

7月22日(日)、7月23日(日) 高校近畿大会視察の為、練習試合終了後、

兵庫県但馬ドームへ(1泊で)

8月2日(木)～8月6日(日)

第50回西日本大学女子ソフトボール選手権大会へ 徳島県徳島市

※先日、抽選結果が出ました。優勝候補の中京大学に一回戦であたりました。抽選とは非情です。

※テスト期間中の為、監督と一部の学生は先に出発。(2日、3日は午前中会議があります)何とか8月3日(金)の16時の開会式に間に合うように、8月3日(金)の午前中までテストを受けさす予定です。(11:40までテスト)

8月8日(水)～8月13日(月)

The14th Suncheon International Women Softballgame Championships

8月14日(火)～16日(木)

夏季休日、たった3日間ですが、家族の一員としてしっかり役割を果たして欲しいものです。

8月17日(金)・18日(土)・19日(日) 北摂練習

8月20日(月)～8月23日(木) 第10回白馬カップ出場

8月24日(土)～8月28日(水) 北摂にてインカレ直前合宿

※8月25日(土)・26日(日) 美作大学との合同合宿

8月29日(木) 第53回全日本大学女子ソフトボール選手権大会へ出発

(石川県金沢市)

※子ども教育学科2年次生、幼稚園実習事前指導 14時

監督、子ども教育学科2年次生5名、遅れて石川県へ

その他

9月に入るとすぐに関西ブロックでの秋季リーグが始まります。4年次生にとっては最後の頑張りを見せる大会になります。この大会で一部残留を決めないと来年度の西カレ・インカレは相当難しくなります。4年次生、有終の美を飾るときです。

第50回西日本大学(女子)ソフトボール選手権大会

第1試合： 9:00～
 第2試合： 11:00～
 第3試合： 13:00～
 第4試合： 15:00～

期 間 平成30年8月4日(土)～8月6日(月)
 会 場 徳島県徳島市 徳島市民吉野川北岸運動広場ソフトボール場

